

《平成29年度 自己評価表を公表します》

ほっとハウス放課後等デイサービスでは、提供するサービスの質について、職員が評価・点検を行いました。

自己評価の結果を踏まえ、支援内容の改善を図るべく自己評価の内容を公表いたします。

- ①活動スペースについては、利用者の人数等によってスペースの確保が難しい場合もあります。園内のスペースを活用しながら、安全に過ごしていただけるようにしていきます。
- ②活動プログラムについて、個別支援計画書をもとに、利用時のご本人の状態に考慮しながら色々な活動を提供し経験することができるようにします。
- ③職員の支援の質の向上のために、今後も各種研修には積極的に参加しながら、支援の質の向上に努めていきます。

利用される皆様に安心して楽しく過ごしていただけるように、上記の事項を中心に取り組み、支援の質の向上に努めていきます。

☆平成29年度 放課後等デイサービス自己評価表《事業者等向け》

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	長期休業中は生活介護事業利用者と一緒に活動になる為、スペースに制限がある場合もあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	適切に配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリーに配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	月1回の会議により、業務の見直し、改善について話し合いを行っています。
	⑤	保護者向けの評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今までアンケート調査を行ったことはありません。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今回の結果を公表します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	実施していません。第三者評価も必要と思われます。

業務改善	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職員のスキルアップを図るため、園内研修に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	職員間で検討会議を行い、サービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	日々の変化が見られた場合は見直し等を行っていますが、今後も工夫が必要と思われます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員間での話し合いのもと、活動内容について立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	週替わりの活動を基本としながら、その日の利用者の状態に応じて活動を提供しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休業中は生活介護事業利用者との集団活動等を取り入れながら支援しています。放課後は時間に制限があるため、その日の状態に応じた活動を支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動と集団活動を組み合わせて行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	当日の利用状況、活動内容、家族への連絡事項等、適宜に打ち合わせを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に利用者の活動状況等について再確認し、情報共有に努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個別支援計画の内容に沿った活動を支援し、その都度詳細を記録に残しています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	マニュアルに沿って見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	色々な活動を経験できるように支援していますが、地域との交流は行っていません。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援専門員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	下校時に担任教諭から本人の状況について情報を得ていますが、学校生活の詳細については、十分に得られていません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアを行うにあたり、主治医から必要な医師の指示書をいただき、また医療ケアの実施状況について報告しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	相談支援専門員から情報提供を受けています。

関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	適切に行われています。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要と思われませんが、専門機関からの助言や研修は受けていません。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	交流や活動について情報が不足しています。実施するには家族の意思確認が必要と思われます。
	②7	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	相談支援専門員が参加しています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者から体調等について情報を得ています。また利用中の様子についても、随時保護者に報告しています。また、連絡帳も情報交換の手段として活用しています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者との情報交換は日常的に行われています。その中で必要に応じて、保護者の話を傾聴し、寄り添うように努力しています。
保護者への説明責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	丁寧に説明しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者との情報交換は日常的に行われています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会の活動支援等は行っていません。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情相談のしくみは確立されていますが、今までに苦情等はありません。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ほっとハウスお便りを発行しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いについては、十分に配慮しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	利用した際は家族との情報交換を密に行っています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	園として行っています。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	職員間では周知が図られていますが、保護者には周知していませんでした。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	利用中に避難訓練があった場合は参加します。

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止チェックリストの実施、虐待防止研修への参加等の対応を行っています。
非常時等の対応	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	ほっとハウスの利用者については大半が車椅子を使用しており、危険防止のための安全ベルトも不可欠です。このため、安全ベルトについては個別支援計画に明記しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在は対象者がいませんが、対応可能です。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	所定の様式により、情報共有が図られています。